

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成29年11月30日 (2017.11.30)

【公開番号】特開2017-181518(P2017-181518A)

【公開日】平成29年10月5日 (2017.10.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-038

【出願番号】特願2017-111070(P2017-111070)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 33/53 Z N A D

G 0 1 N 33/53 N

G 0 1 N 33/53 M

C 1 2 Q 1/68 A

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月19日 (2017.10.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象における神経学的状態を検出するための方法であって、

前記対象から採取された生物試料中のバイオマーカーの量を測定する工程、ここで、前記バイオマーカーは、タウに対する自己抗体、または、タウの分解産物に対する自己抗体である；および、

前記生物試料中の前記バイオマーカーの量に基づいて神経学的状態を検出する工程を含む、

方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法であって、

前記神経学的状態が、外傷性脳損傷、多臓器損傷、脳卒中、神経変性疾患、アルツハイマー病、パーキンソン病および慢性外傷性脳症 ( C T E ) からなる群から選択される、

方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の方法であって、

前記バイオマーカーが、ヒトタウ ( 配列番号 1 1 ) に対する自己抗体である、

方法。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の方法であって、

前記バイオマーカーが、アミノ酸 2 5、4 4、1 2 9、1 5 7、2 2 9、または 4 2 1 での切断によって形成される、ヒトタウ ( 配列番号 1 1 ) の分解産物に対する自己抗体である、

方法。

**【請求項 5】**

請求項 1 に記載の方法であって、  
前記バイオマーカーが、ラットタウ（配列番号 5）に対する自己抗体である、  
方法。

**【請求項 6】**

請求項 1 に記載の方法であって、  
前記バイオマーカーが、アミノ酸 43、120、220、370、または 412 での切断によって形成される、ラットタウ（配列番号 5）の分解産物に対する自己抗体である、  
方法。

**【請求項 7】**

請求項 1 に記載の方法であって、  
前記バイオマーカーの量は、コントロール対象における前記バイオマーカーの量と比較される、  
方法。

**【請求項 8】**

請求項 1 に記載の方法であって、  
前記生物試料は、血液、血清、血漿、CSF、尿、唾液または組織である、  
方法。

**【請求項 9】**

対象における外傷性脳損傷を診断する方法であって、  
衝撃の後の対象から採取された生物試料中のバイオマーカーの量を測定する工程、ここで、前記バイオマーカーは、タウに対する自己抗体、または、タウの分解産物に対する自己抗体である；および、  
コントロール対象と比べた、前記生物試料中の前記バイオマーカーの変化量に基づいて、外傷性脳損傷を診断する工程  
を含む、  
方法。

**【請求項 10】**

請求項 7 に記載の方法であって、  
前記生物試料は、血液、血漿、血清、CSF、尿、唾液または組織である、  
方法。

**【請求項 11】**

検出試薬であって、  
前記検出試薬は、25 位、44 位、129 位、157 位、229 位または 421 位のアミノ酸における切断部位から 10 アミノ酸以内のヒトタウ（配列番号 11）アミノ配列に対する自己抗体と結合する、  
検出試薬。

**【請求項 12】**

検出試薬であって、  
前記検出試薬は、配列番号 125、126、127、128、129、130、131、132、133、134、135、136、137 または 138 の少なくとも一部分に対する自己抗体と結合する、  
検出試薬。

**【請求項 13】**

検出試薬であって、  
前記検出試薬は、43 位、121 位、229 位、38 位または 412 位のアミノ酸における切断部位から 10 アミノ酸以内のラットタウ（配列番号 5）アミノ配列に対する自己抗体と結合する、  
検出試薬。

**【請求項 14】**

検出試薬であって、

前記検出試薬は、配列番号 1 1 5、1 1 6、1 1 7、1 1 8、1 1 9、1 2 0、1 2 1、1 2 2、1 2 3 または 1 2 4 の少なくとも一部分に対する自己抗体と結合する、  
検出試薬。